

◎ 構成員の所属団体からの検討課題等（食教育研究会 栄養指導研究部）

1 研修環境

- ・ 学校教育における給食時間の位置づけ等について、中学校の管理職をはじめとする教員向けの研修の必要性
（実施にあたっては中学校教員が全員参加できる機会を提供する）
- ・ 具体的、実践的な給食時間の運営に関する実習の必要性
（例：中学校完全給食の実施より前に、中学校教員が小学校に出向き、見学だけではなく実習も行う等）
- ・ 食育について、学校全体で取り組むことができるよう、講習や研修の充実を図ること

2 運営面

- ・ 給食を適正な栄養摂取、配膳やマナーについて学ぶための時間と捉え、小学校で使用している「給食時間マニュアル」を活用した給食指導を行うこと
- ・ 給食時間（食べる時間）の確保
- ・ 提供量に見合った食器の大きさや種類の検討

3 その他留意事項

- ・ 財政面だけにとらわれて親子方式を選択するのではなく、小学校給食に及ぼす影響も考慮して幅広い検討を行うこと